

※同時記者発表 高松経済記者クラブ、徳島県政記者クラブ、愛媛番町記者クラブ、高知県政記者クラブ

【平成27年度 四国防災トップセミナー】

来るべき 大規模災害に向けて ～大規模震災災害からの復興と豪雨災害を考える～

四国防災トップセミナーは、四国内の市町村長と四国南海トラフ地震対策戦略会議メンバーが一堂に会し、防災に関する講演の拝聴や意見交換を通じて見識を深め、地域防災力の向上を目指すことを目的に実施しています。

今年度は、東日本大震災により甚大な被害を受け、現在「地域再生計画」を策定し、「地域創生」の実現に向け取り組みを進めている、宮城県の 亀山石巻市長、また、度重なる土砂災害に対してタイムラインを策定し、防災対応の取り組みを進めている、高知県の 岩崎大豊町長に御講演いただきます。

◆開催日時 ; 平成28年2月10日(水) 14:30～17:15

◆場 所 ; 国土交通省四国地方整備局 13F災害対策室
香川県高松市サンポート3番33号
高松サンポート合同庁舎13階

◆参加者 ; 四国内の市町村長、
四国南海トラフ地震対策戦略会議メンバー 他

■主 催 ; 国土交通省四国地方整備局

◆主な内容(予定)

第1部 東日本大震災からの復興

基調講演 『東日本大震災からの復興 ～災害時の初動対応と備え～』
宮城県 石巻市長 亀山 紘 氏

第2部 「土砂災害、豪雨災害」への対応

基調講演 『山村の土砂災害への備え』
高知県 大豊町長 岩崎 憲郎 氏

この施策は、四国広域地方計画「No6 防災向上プロジェクト」の取り組みに該当します。
この施策は、四国地震防災基本戦略の取り組みに該当します。

平成28年2月3日

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 四国地方整備局 企画部

総括防災調整官

防災課長

林 重延 (内線 2119)

伊賀 達也 (内線 3411)

TEL (087) 851-8061 (代表)

(087) 811-8310 (ダイヤルイン)

来るべき 大規模災害 に向けて

～大規模災害からの復興と豪雨災害を考える～

開催日時 平成28年2月10日(水) 14:30～17:15
 開催場所 国土交通省 四国地方整備局 災害対策室
 (高松サポート合同庁舎13階)
 参加者 四国内の市町村長、
 四国南海トラフ地震対策戦略会議メンバー他
 主催 国土交通省 四国地方整備局

震災直後の宮城県石巻市(中瀬地区)
(H23.3.11撮影)

四国防災トップセミナーは、四国内の市町村長と四国南海トラフ地震対策戦略会議メンバーが一堂に会し、防災に関する講演の拝聴や意見交換を通じて見識を深め、地域防災力の向上を目指すことを目的に実施しています。

今年度は、東日本大震災により甚大な被害を受け、現在「地域再生計画」を策定し、「地域創生」の実現に向け取り組みを進めている、宮城県の **亀山 石巻市長**、また、度重なる土砂災害に対してタイムラインを策定し、防災対応の取り組みを進めている、高知県の **岩崎 大豊町長**に御講演いただきます。

本セミナーを通じて大規模災害に関する知見を広げ、今後の災害への備えに繋がっていただきたいと思います。



～プログラム～

◆ 開会

◆ 第1部 東日本大震災からの復興

- ・基調講演 「東日本大震災からの復興
～災害時の初動対応と備え～」

宮城県 石巻市長 亀山 紘

◆ 第2部 「土砂災害、豪雨災害」への対応

- ・基調講演 「山村の土砂災害への備え」
高知県 大豊町長 岩崎 憲郎
- ・活動報告 「関東・東北豪雨災害TEC-FORCE」
隊長 国土交通省 四国地方整備局 近藤 秀樹

(情報提供)

水防災意識社会 再構築ビジョンについて
 国土交通省 四国地方整備局 河川部
 国土強靱化について
 内閣官房国土強靱化推進室

◆ 閉会



JR仙石線・仙石東北ライン開通(H27.5.30)



H26年 台風12号11号による被災状況(大豊町)

来るべき大規模災害に向けて

～大規模災害からの復興と豪雨災害を考える～

講演者紹介



第1部 東日本大震災からの復興

テーマ「東日本大震災からの復興 ～災害時の初動対応と備え～」



宮城県 石巻市長
亀山 紘

Hiroshi Kameyama

東日本大震災で、自治体単位では最も多い4,000人近い死者・行方不明者が出るといふ甚大な被害を受けた宮城県石巻市では、復旧・復興と連動し、人口減少や超高齢化社会の到来を見据えた取り組みを進めています。平成27年1月に「地域再生計画」を策定し、改正地域再生法に基づく第1号の認定を受けました。現在、「地方創生」の実現に向けて全力で取り組んでいます。



現在の宮城県石巻市(中瀬地区)
(H27.9.17撮影)

- | | | |
|----|----------|-----------------|
| 生年 | 昭和17年10月 | |
| 学歴 | 昭和41年 3月 | 神奈川大学工学部応用化学科卒業 |
| 経歴 | 昭和41年 4月 | 宮城県塩釜高等学校教諭 |
| | 昭和44年 4月 | 東北大学工学部文部技官 |
| | 昭和62年 8月 | 東北大学工学部講師 |
| | 平成元年 4月 | 石巻専修大学助教授 |
| | 平成 5年 5月 | 石巻専修大学教授 |
| | 平成 9年 4月 | 石巻専修大学開放センター所長 |
| | 平成21年 4月 | 石巻市長就任 |



被災市街地復興土地区画整理事業まちびらき

第2部 「土砂災害、豪雨災害」への対応

テーマ「山村の土砂災害への備え」



高知県 大豊町長

岩崎 憲郎

Kenro Iwasaki

高知県大豊町は、全国有数の地すべり地帯であり、台風や地震のたびに土砂災害に悩まされてきました。多くの地すべり・がけ崩れが発生した、平成26年台風12号、11号の経験・教訓を踏まえ、町、防災関係機関、地域住民等が参画し、タイムライン（事前防災行動計画）の試行案を策定、今年度の台風11号において試行運用し、防災対応を行っています。



被災状況

- | | | |
|----|----------|--------------|
| 生年 | 昭和26年 3月 | |
| 学歴 | 昭和44年 3月 | 県立高知農業高等学校卒業 |
| 経歴 | 昭和44年 3月 | 自営農業 |
| | 昭和45年 3月 | 天坪農業協同組合 |
| | 昭和48年10月 | 嶺北消防一部事務組合 |
| | 昭和50年 7月 | 大豊町役場 |
| | 平成15年 3月 | 大豊町森林組合専務理事 |
| | 平成16年12月 | 大豊町長就任 |



政府調査団へ被災状況説明